

# やまが 市議会だより

第18号

平成30年8月1日  
発行／山鹿市議会



若人が  
熱意を込めて  
拳上げ  
深緑樹々と  
共に踊らん

山鹿市立鶴城中学校 最後の体育大会で全生徒による第16代目よさこいソーラン演舞決めポーズ

もくじ▶

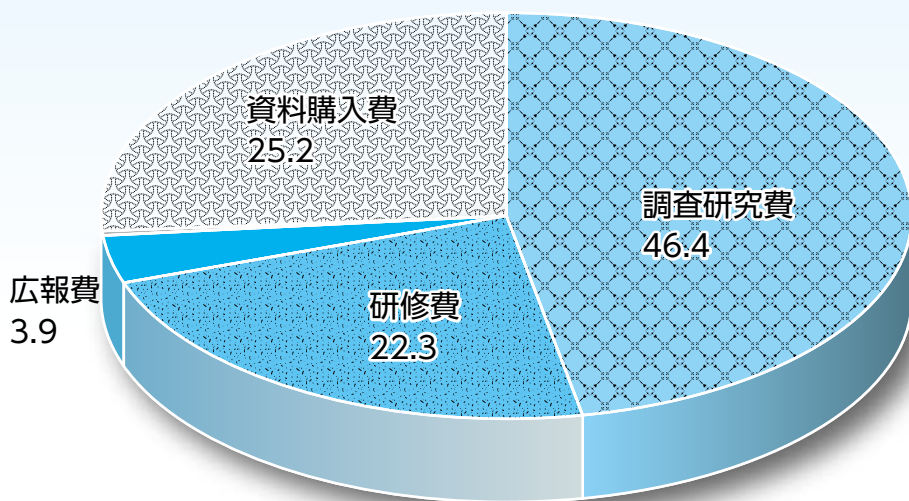
平成29年度政務活動費概要	2
常任委員会審査と報告	3
市政のここが聞きたい	6
審議した議案と結果一覧・主な議案	10
議会の主な動き・人事案件他	12

# 平成29年度政務活動費概要報告

山鹿市議会の政務活動費は、「山鹿市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員の調査研究その活動に資するために必要な経費の一部として、市から公費として交付されています。市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる議員活動や住民福祉の増進を図るために必要な議員活動にかかる経費に使うことができます。(私人のプライベートな活動・政党活動・選挙活動・後援会活動の経費は対象外。)

議員一人に対し月額2万円(年額24万円)が、毎年度4月に当該年度分として交付され、収支報告は、翌年度の4月末までに領収書その他支出を証する書面(1円以上すべての領収書等)を所定の収支報告書に添えて議長へ提出しなければなりません。交付総額から残金がある場合は市へ返還となります。(収支報告書の保存は5年間。)

## 平成29年度政務活動費使途実績内訳



交付額	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要望・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	使用額	返還額	公費使用額
4,800,000	2,255,966	1,082,002	189,051	0	0	9,975	38,315	1,225,331	0	57,153	4,857,793	327,894	4,472,106
構成比	46.40%	22.30%	3.90%	0.00%	0.00%	0.20%	0.80%	25.20%	0.00%	1.20%			93.17%

項目	使 途 内 容
調査研究費	議員が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
研修費	議員が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費
広報費	議員が行う活動及び市政について住民に報告するために要する経費
広聴費	議員が行う住民からの市政及び議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
要望・陳情活動費	議員が要望及び陳情活動を行うために必要な経費
会議費	議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
資料作成費	議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
人件費	議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	議員が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費

※収支報告書等は情報公開の手続きにより閲覧することができます。

# 常任委員会審査と報告

◎は委員長

○は副委員長

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、広報委員会で作成したものを掲載しています。

## 総務文教常任委員会

6/14 開催

◎寺崎 勇児 ○富丸洋一郎  
池田 誠一 吉本 政幸  
藤本 峰秀 勢田 昭一  
小川 榮二

◆付託案件  
議案3件…可決

◆主な審査内容

山鹿市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

**問** 小学校統合後、放課後児童クラブはどうなっているのか。

**答** 米野岳地区は2か所（めのだけ小学校・鹿央ふれあい塾）、菊鹿地区は1か所（あんずの丘交流館）、山鹿地区は3か所（旧教育会館・大宮神社そば・川辺公民館）、鹿北地区は（まほろば保育園横）となっている。

**問** 放課後児童クラブで、特別支援を要する児童への支援員は。

**答** 支援員が要支援者対応の研修を受け、スキルアップを図っている。

**問** 放課後児童クラブへのスクールバスの利用はあるのか。

**答** 現在、鹿央ふれあい塾の児童クラブで利用している。

## 和水町と定住自立圏形成の協定を結び、地域活性化を進める

定住自立圏形成協定の締結について

**問** 「山鹿市・和水町定住自立圏形成協定」の申し入れはどちらからか。

**答** 和水町からであり、医療連携、子育て支援、公共交通関係で協力ができると、また、移住・定住連携も可能との判断による申し入れである。

**問** 協定に伴う事業内容はどのようなか。

**答** まだ、詳細には決定していない。協定締結後、本年度中に策定する定住自立圏共生ビジョンにおいて事業内容を決める。

※6月21日に、山鹿市・和水町定住自立圏形成に関する協定を締結した。

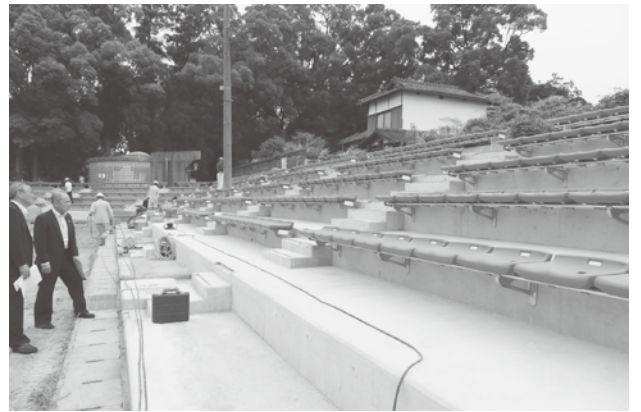
### 現地調査

・つばみ保育園の園舎改築

昭和44年に建設され、築48年が経過し老朽化。建築基準法改正前の未耐震構造の園舎のため、安全性の確保と設備及び保育環境の充実を図った。鉄筋造2階で建物延べ面積709.8㎡、定員60名。

・山鹿小学校屋外運動場既設スタンド改修工事

山鹿小学校運動場で、個別席（669席）、長尺席（257席）、車イス席（5席）の工事進捗状況を視察した。  
・一般廃棄物処理施設建築工事  
現地で、工事の進捗状況と事業スケジュールの説明を聞いた。12月試験運転を開始する。



山鹿小学校屋外運動場既設スタンド改修工事（6/14）



つばみ保育園の園児用トイレ

# 市民福祉常任委員会

6/13 開催

- ◎服部 香代 ○平井 邦廣
- 芹川 正美 北原 昭三
- 有働 辰喜 芋生よしや

◆付託案件  
議案5件：承認可決

## ◆主な審査内容

山鹿市税条例等の一部を改正する条例（専決処分の承認）

**問** 納税義務者本人が障害者、寡婦等の場合、住民税非課税限度額「125万円」を「135万円」に改めるとあるが、市民の負担増となるのか。

**答** 給与所得控除や公的年金控除等も「10万円」引き下がるので、ほとんど影響はないものと考えられる。今回控除非課税限度額が増えるので、どちらかといえば負担軽減となる。

山鹿市都市計画税条例の一部を改正する条例（専決処分の承認）

**問** 都市計画税条例改正の具体的な内容は。

**答** 改修実演芸術公演施設等に対する特例措置で、劇場や音楽堂などについてバリアフリー化などの改修工

事を行った場合、固定資産税の3分の1を2年間減額するもの。特例措置を受けられるのは、平成32年3月31日までに改修工事（浴槽・廊下・エレベーター・階段・駐車場・出入口等）をした建物等。

山鹿市国民健康保険条例の一部を改正する条例（専決処分の承認）

**問** 課税限度額が「54万円」から「58万円」に改正されると、市民に負担増となるのか。

**答** 課税限度額を引き上げた場合の対象世帯数は204世帯で、約800万円の負担増となる。

## 税条例改正で 内容はどう変わる

一方、5割軽減、2割軽減により約150万円の負担減となる。

**問** 204世帯の所得はどれくらいなのか。

**答** 所得にすれば640万円程度になる。

**問** 640万円所得の204世帯は負担増になり、5割・2割の軽減を受けるのは別世帯ではないのか。

**答** 軽減を受けるのは所得の低い別世帯である。

山鹿市国民健康保険条例の一部を改正する条例

**問** 児童福祉法の規定施設とはどういうもので、条例の中身はこれまでとどう変わったのか。

**答** 児童福祉法に規定する施設には、乳児院、児童養護施設、障害児入所施設等がある。国民健康保険事業の広域化にあわせて、条文を統一するもの。

平成30年度山鹿市一般会計補正予算（第1号）中 中所管

**問** 障害者福祉費、生活保護総務費などの、管理経費「システム改修

委託費」とはどういうものか。

**答** 福祉援護課、福祉課などで、システム開発業者にそれぞれの事業ごとに改修委託するもの。国の法令改正なので国から2分の1補助金が交付され、市から2分の1支出となる。

## 現地調査

はつらつ学校  
養護老人ホーム「寿楽荘」  
一般廃棄物処理施設建築現場

はつらつ学校では、運動・生活機能の維持向上を図る運動を利用者のみなさんと体験した。



はつらつ学校



一般廃棄物処理施設建築現場

# 建設経済常任委員会

6/12  
開催

◎永田 紘一 ○富田 弘海  
横手 啓介 堀 茂幸  
藤原 豊 立山大二朗

## ◆付託案件

議案3件：可決  
請願2件：不採択

## ◆主な審査内容

山鹿市工場等設置奨励条例の一部を改正する条例

### 問

都市計画区域内に設置されている場合、固定資産税だけでなく、都市計画税も免除の対象となるのか。

### 答

都市計画税は免除の対象外である。

平成30年度山鹿市一般会計補正予算（第1号）中所管

### 問

農業担い手支援総合対策事業300万円の内容は。

### 答

農業用機械の導入等補助である。対象は、農事組合法人井手下ファーム（鹿本町）、補助率は10分の3である。

政務活動費概要報告

5月17日開催（継続審査）

## 請願

米の生産費を償う価格下支え制度を求める請願

米の直接支払交付金の廃止や経営所得安定対策等の概要について担当課より説明を受け、慎重に審査を行った。米の直接支払交付金については、平成26年産米より10アール当たり7,500円となり4年間の経過措置がとられていたこと、また作付予定面積もあまり変わりがなかったことから、挙手採決の結果、不採択すべきものとなった。

# 菊鹿ワイナリー 10月完成予定!

種子法廃止に伴う万全の対策を求める請願

主要農産物種子法を廃止する法律の概要、廃止後の対策等について担当課より説明を受け、慎重に審査を行った。菊鹿地域においては熊本県の多くを占める種子の生産を行っているため種子法の廃止については危惧していること、種子法廃止については国においても付帯決議が付されており、各県において



山鹿小学校屋外運動場既設スタンド改修工事（6/12）

も種子はこれまで同様に取り扱っている方針であることから、挙手採決の結果、不採択すべきものとなった。

## 現地調査

・山鹿小学校屋外運動場既設スタンド改修工事現場  
山鹿小学校グラウンドにある既設



菊鹿ワイナリー建築工事現場

スタンドの改修工事について進捗状況の確認を行った。

## ・新規就農者研修施設（千田地区）

鹿央地域千田地区に今年度開所する新規就農者研修施設について、JAかもとより概要説明等を受け、調査・研究を行った。

## ・菊鹿ワイナリー（内田地区）

今年10月に完成予定の菊鹿ワイナリーの工事進捗状況や施設整備状況の説明を受け、調査・研究を行った。

このほか、市道芋生線道路改良工事現場等の現地調査を行った。

市政のことが聞きたい

審議結果表・主な議案

# 市政のここが聞きたい!



こちらのQRコードからご覧いただけます。

インターネット録画配信をご覧いただけます。

山鹿市ホームページ → 市議会一覧 → 定例会の様子

の順にクリックしてください。



服部 香代 議員

## 和水平町との定住自立圏形成協定の締結について

**質疑** 目的や具体的な内容はこういったものか。また今後の取組みについて。

**答弁** 総務部長

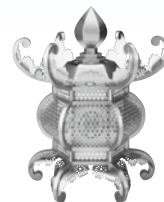
和水平町の生活機能と連携し、山鹿市・和水平町を一つの圏域として定住の受け皿となる基盤を確保する。交流人口の増加による経済活性化が図られる。医療福祉分野等でも、連携した取り組みを想定しているが特に地域公共交通、農業・観光、移住定住に重点を置く。速やかに定住自立圏共生ビジョンを本年度策定する。

## 山鹿灯籠まつりについて

**質問** ①磨き上げとして取り組んできた3年間の経緯とその検証について  
②地方創生ジャパンプランド構想推進事業との関連と、祭りのあり方と継承について

**答弁** 経済部長

- ①平成28年に灯籠まつり実行委員会へ灯籠まつり運営検討会議から答申書が出され、それを受け平成28年度から大宮神社、町内会、婦人会等の実行委員会メンバーに加え、磨き上げ懇談会及び山本寛斎事務所など、多くの関係者と検討してきた。今年の灯籠まつりは「灯(あかり)」をテーマに全体プログラムを編成し、繋がりのある構成としている。千人灯籠踊りは2部制から1部制に移行し、上がり灯籠との連続性を可能にした。検証は今年11月までに取りまとめる。毎年の検討、実施、そして検証が重要だと考えている。
- ②山鹿灯籠ジャパンプランド構想のアドバイザーである山本寛斎氏による日本元氣プロジェクト等のイベントで全国的なPR活動を展開している。今年は祭りの演出も完成型と捉え、金灯籠のディスプレイも行う。見る人の満足感のもとより、参加する人が達成感を味わえる祭りをを目指す。高校生の参画も促進し、踊り手確保策は登録制を導入するなど多くの市民参画を促す組織体制を構築し、担ぎ手確保策は「上がり灯籠振興会」を設立し、それぞれの課題解決を図り次世代に継承していく。





富田 弘海 議員

介護保険について

- 質問**
- ①第7期(2018~2020年度)の介護保険料が下がった要因は何か。
  - ②適正なサービス提供への取り組みとは何か。また、施設整備の実現性、新たな取り組みはあるのか。
  - ③制度改正も含め、利用者の利用形態の変化と今後の利用見込みはどうか。

**答弁** 福祉部長

- ①サービスを必要とする要介護認定者の増加と介護給付費の伸びを抑えられたことが大きな要因であり、これは、本市が積極的に取り組んだ介護予防事業、事業所の適切なケア提供、地域の支えあい活動充実などによる成果である。
- ②質の高いサービス提供により介護保険制度への信頼を高め、持続可能な制度を構築することであり、今後も早期段階での介護予防への取り組みや日常生活支援総合事業の利用により、心身の機能低下防止を

図っていく。施設整備は、地域の状況に応じて、サービス基盤が不十分と思われる圏域での整備を計画している。新たな取り組みは、安定した人材確保のための介護人材育成支援事業や、高齢者の生活課題把握と協同で支援するための組織づくりに取り組んでいる。

- ③高齢者介護を社会全体で支え合う仕組み、利用者自らが契約する保険制度として平成12年に誕生し、以来、地域支援事業の実施や地域包括ケアシステムの構築、在宅医療・介護の連携、共生型サービスの導入などの制度改正が行われてきた。利用形態は、施設サービスから在宅サービス、地域密着型サービスの利用へと変化しており、今後も在宅生活を中心としたきめ細やかなサービス提供をすることで、元気高齢者の維持・増加に努めていく。



介護予防運動型通所事業「はつらつ学校」



北原 昭三 議員

公立図書館における雑誌スポンサー制度導入後の状況について

- 質問** 平成28年3月定例会にて雑誌スポンサー制度の導入を要望、平成29年度から雑誌スポンサー制度を導入、導入後の状況について。

**答弁** 教育部長

平成29年度に引き続き、今年度も鹿央町の事業所1社から2つの図書館に各5冊の雑誌スポンサーとして、年間約5万7千円の雑誌購入に協力を頂いている。



山鹿市立こもればい図書館

食品ロス削減について

- 質問** 食品ロス削減につながるフードドライブ事業についての考えは。

**答弁** 福祉部長

食品ロス削減のために有効な一つの方法と思われるので、本市においてのシステムの確立や啓発、また行政の関わり方等について、今後、調査・研究を進める。

中小企業支援について(生産性向上特措法が成立)

- 質問** 中小企業の設備が老朽化し、労働生産性が伸び悩んでいることを背景に、中小企業の積極的な設備投資を後押しすることで、生産性の飛躍的な向上を進めるのが柱。山鹿市の対応と中小企業者への情報提供(周知方法)をどのように行うか。

**答弁** 経済部長

固定資産税の軽減については、3年間、対象設備の固定資産税額をゼロとする。事業所への周知方法としては、対象業種が多岐にわたるため、市の広報紙及びホームページ、また、山鹿商工会議所、山鹿市商工会、さらには、山鹿市企業連絡協議会において周知する。

AEDの活用と設置場所について(学校での心肺蘇生教育と危機管理体制の整備)

- 質問** 本市の小中学校における児童生徒への心肺蘇生教育の現状と今後の方向性、教職員へのAED講習の実施状況など具体的な取り組みはどのようになっているか。

**答弁** 首席教育審議員

今後は、教科学習のみならず、学校行事等にもAEDを含む心肺蘇生法の実習や紹介を組み込むことで、心肺蘇生教育の充実に努める。児童・生徒の命を守るための安全な学校環境を構築できるよう努める。

※上記質問の他に、公立図書館における大型連休中の対応及びサービス向上について・校舎外にAED設置・コンビニへのAED設置について質問。



勢田 昭一 議員

### 地元高校への進学率向上と若者が残る対策について

**質問** ①平成29年度末の地元高校5校への進学率は。  
②平成29年度末地元高校卒業後の就職状況は。

**答弁** ①首席教育審議員 ②経済部長

①地元高校等への進学率は、市内6中学校の平成29年度卒業生451名の進路状況結果によると、菊池支援学校山鹿分教室と山鹿市内4高校への進学者数は合わせて265名で、市内高校への進学率は59%。他地区への進学状況は、熊本市内へ18%(79名)、近隣の玉名・菊池地区には15%(69名)となっている。  
②平成30年3月末の卒業生は、支援学校分教室を含む市内高等学校等5校で626名。内、就職者数は223名(卒業生全体の35.6%)となっている。就職先の内訳は、市内に35名(就職者全体の15.7%)、本市以外の熊本県内に144名(同じく64.4%)、県外等に44名(同じく19.7%)となっている。

### 日本遺産認定から1年、その現状と課題について

**質問** 行政・民間の協働で「菊池川流域日本遺産」の事務所となる拠点施設の開設計画とその課題について。

**答弁** 教育部長

観光客など来訪者が日本遺産を深く理解するために、ガイドが常駐する拠点施設を整備するとなると、場所の選定や初期整備費用の創出、さらに組織運営のための人材や維持管理費の確保などが必要である。

特に運営母体組織については、運営資金を自ら調達するという自主自立の考えを基本に、自主財源の確保が求められる。また、既存の観光案内所とのすみ分けも必要である。拠点施設が可能かどうかも含め協議会内で検討を進めていく。

※上記以外に、人口減少に伴う現状と対策(人口・年齢構成、財政の推移)について質問。



菊鹿小学校田植えリレー



芋生よしや 議員

### 市民要求実現について

**質問** 町なかトイレ整備その後  
快適な利用に向けた市民からの7つの要望と、塗装がはがれたトイレはその後どうなったのか。

**答弁** 建設部長

照度を上げる、水はけをよくするなどはすでに改善。介助シート設置は建て替え時期に検討し、他の提案は改善可能なものから順次進める。はがれた塗装は灯籠まつりまでに完了予定である。

**質問** 市は、どのように待機児童解消を見通し、条件整備を行おうとしているのか。

**答弁** 教育部長

ゼロ・1歳児といった低年齢の保育ニーズが高まっている。保育士の確保対策として、保育補助者の雇上強化事業を進め、新たな受け皿となる家庭的保育事業等の認可も進めている。

**質問** 山鹿市内にも、心身の発達に特別な支援を必要とする子どもたちが増えていることをどう捉えているのか。

国が打ち出している、保育士資格を持たない保育補助者を雇い入れることや、保育に企業参入を許すなどの、保育士配置の緩やかな保育事業ではなく、正規の保育士を雇い、子どもたちの発達を保障できる保育環境の整備こそ、市が取り組むことではないのか。

**答弁** 市長

特別な支援を要する子どもが年々増加傾向にあることは承知している。保育園、小中学校でもインクルーシブ保育・教育に取り組み、しっかりとした対応をしていると考えている。質の高いきめ細やかな保育・教育を受けることができる環境整備・充実に努める。

※上記以外に、県駅伝試走費補助、非核平和都市宣言都市として平和の発信について質問。



町なかトイレ改善(低い位置に付けられたフック)





永田 紘二 議員

**消防機能の現状と今後の出動体制維持について**

**質問** 山鹿市消防署員と消防団員の消防機能の現状は。また昼間消防団員の4分の1しか火災現場への出動ができない等の懸案もある現状で、今後の出動体制維持について。

**答弁** 消防長

常備消防は実員79人、非常備消防は実員2037人である。

機能別団員は地域の実情を勘案し現在79人を配置している。全国的に消防団員数の減少が問題になっている中、当市も例外ではなく減少傾向であり、地域により団員数格差があるため調査を実施し、今後の消防力の機能充実を図り実情を踏まえ対応を検討していく。



総合健診 胃がん検診車

**健診の現状と受診率の向上について**

**質問** 健診の現状と受診率の向上について。

**答弁** 福祉部長

現在、特定健診・後期高齢者健診・がん検診・結核検診を行っており、がん検診については市独自に、対象者を19歳まで拡大して実施している。また、国民健康保険加入の19歳から39歳までを対象に、若年健診も行っている。

受診率向上のために、市民の要望に基づき受診しやすい環境づくりに向けた改善を行っており、少しずつであるが受診率は向上している。今後も引き続き実施可能な場所の選定・見直しを行い、受診率向上に向けた啓発活動を行っていく。

**介護保険制度について**

**質問** 介護保険制度において、保険料の引き下げや今後の介護保険事業の主体となる地域包括支援センター事業の民間委託や複数のセンターに増やすことが必要と思うがどうか。

**答弁** 福祉部長

民間委託については、全国的に委託化が進んでしまっているが、直営、民間委託、それぞれにメリット・デメリットがあり、委託の受け皿や適正な設置箇所数の検討が必要。センターを複数個所に設置した場合、市民生活に身近な窓口が増え、より気軽に相談を受けることができるが、各センターの質の担保や相談支援への対応基準の統一が難しくなる。

**公立図書館・学校図書館の充実について**

- 質問**
- ①公立2図書館のすみわけについて。
  - ②子育て支援・青壮年層の公立図書館の利活用は。
  - ③学校図書館と公立図書館の連携について。

**答弁** 教育部長

- ①ひだまり図書館は蔵書数が約10万4千冊、移動図書館車の拠点。こもれび図書館は約6万5千冊。中高生向けの図書を充実させた「青春コーナー」や「郷土資料コーナー」を設置。
- ②健康増進課と連携して(1)母子健康手帳交付時に出産・子育てに関する絵本を配布 (2)3・4か月児健診時に絵本の配布と読み聞かせを行うブックスタート事業 (3)1歳6か月健診時のブックスタートプラス事業を実施。また、ひだまり図書館にビジネス支援コーナーを設置。地元事業所を紹介するブースを設置し地域での雇用を促進。
- ③希望する市内の小学校1年生のクラスに、絵本を出張貸出する「ぶっくぼっくす」など。ほか、各学校に配置の読書活動推進員の会議に、公立図書館司書が出席するなど、職員間の情報を共有し、ニーズの把握や事業等への意見交換等を行っている。



立山大二郎 議員

**市内の防犯カメラ設置推進について**

**質問** 民間への設置補助は。

**答弁** 総務部長

玉名市・合志市・天草市が補助金交付要綱を定めている。補助金制度の創設については、設置者に対し適正な管理や指導のための明確なルールづくりと併せて、今後検討する必要がある。

**奨学金返還への助成と地元就職の支援について**

- 質問**
- ①県内他自治体の実施状況について。
  - ②山鹿市における具体的な取り組みは。

**答弁** 経済部長

- ①上天草市、荒尾市で開始。県では本年度施行予定で進めている。
- ②対象とする奨学金の種類や業種、事業主負担の有無など実施要件の整理を要する。国の動向も注視しながら、今後要件等の整理を行う必要がある。



有働 辰喜 議員

**土地改良区に対する考え方と今後の支援について**

**質問**

合併前のそれぞれの土地改良区設立時から市と密接な関係にあり、農林行政の推進役として寄与している土地改良区に対し、新市移行後、新庁舎への事務所入居拒否、土地改良区合併後の職員派遣縮小・補助金カット等の対応があった。県下の一定規模(1,000ha)以上の土地改良区16団体への調査によると、



鹿央地区の土地改良田

6割強の自治体が補助金を投入していると回答。市として土地改良区に対する考えと今後の支援をどう考えているか。

**答弁 経済部長**

土地改良区は、本市の農業農村整備事業推進上非常に重要な団体であり、農村環境の保全や農村地域の活性化への役割も期待している。農業者の高齢化や担い手不足、土地持ち非農家の増加など社会情勢の変化や、施設の老朽化などで、土地改良区の運営は厳しい状況にあると考えており、地域の課題、今後の農業情勢を踏まえながら、農家を注視し、土地改良区と連携して取り組んで行く。

**八幡小、平小城小、三岳小の統合について**

**質問**

「ゆめーる第42号」の3小統合に関する記事で、開校目標時期を明記せず、当面延期するという文面をみて、地域の合意形成ができてないのではと疑問を持った。開校延期の理由は。

**答弁 教育部長**

平成28年4月から始めた統合校の位置や、地域から学校が無くなることへの懸念等を払拭するため説明・意見交換に時間を要したこと、今後施設等の調査・検討を基に、開校に向けた施設整備を進めるための時間が必要であり延期をした。

**タブレット研修を行いました！**

(タブレット準備委員会 服部香代)

5月16日、全議員が参加してタブレット端末機操作の研修を行いました。

全国の各地の議会でも、ICTを活用した議会運営への取り組みが進んできています。県内でもいくつかの議会が、タブレットを活用した議会に移行しています。

タブレット活用のメリットとしては、膨大な議案資料が容易に検索できることや、データの検索、記録が容易になること、また情報伝達や災害時の現場情報を共有できることなどがあげられます。

しかし課題も多く、今後十分に検討していく必要があります。



山鹿市議会では、まずは委員会への議員個人所有のタブレット端末機の持ち込みを許可することから始めました。

研修にはNTT西日本熊本支店から講師を迎え、タブレットの基本的な使い方やアプリを使った検索や利用の仕方といった基本的な操作を学びました。

タブレットに苦手意識があった議員も、実際に触れてみて可能性を実感したようでした。

今後はさらに研鑽を重ね、確実にステップアップしていきたいと考えています。



# 平成30年（第2回）6月定例会における審議結果表

議案等番号	案 件	結 果
議案第 56 号	専決処分の承認を求めることについて（山鹿市税条例等の一部を改正する条例）	承認
議案第 57 号	専決処分の承認を求めることについて（山鹿市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第 58 号	専決処分の承認を求めることについて（山鹿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第 59 号	山鹿市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
議案第 60 号	山鹿市工場等設置奨励条例の一部を改正する条例	可決
議案第 61 号	山鹿市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議案第 62 号	平成30年度山鹿市一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第 63 号	損害賠償の額を定め和解することについて	可決
議案第 64 号	定住自立圏形成協定の締結について	可決
議案第 65 号	固定資産評価員の選任について	同意
請願第 3 号	米の生産費を償う価格下支え制度を求める請願	不採択
請願第 4 号	種子法廃止に伴う万全の対策を求める請願	不採択
意見書案第1号	日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書	可決

## 賛 否 表

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
議 員	立山大二朗	小川 榮二	芋生よしや	勢田 昭一	有働 辰喜	服部 香代	富田 弘海	富丸洋一郎	藤本 峰秀	北原 昭三	芹川 正美	藤原 豊	平井 邦廣	吉本 政幸	池田 誠一	堀 茂幸	永田 紘二	横手 啓介	寺崎 勇児
議案第58号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第 3 号	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
請願第 4 号	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

上記以外の案件は全会一致で審議結果表のとおりとなりました。（議長は採決には加わりません）

### 反対・賛成討論 芋生よしや議員

**議案第58号**  
 条例改正により国民健康保険の、204世帯が増税となる為反対。  
 市は、国庫負担割合引き上げを政府に求めるべき。専決処分ではなく、臨時議会を開き十分な審査をすべきではなかったか。

**議案第64号**  
 定住自立圏構想は、住民サービス低下・過疎化を招く問題視されている。情報を公開し、住民間や議会での議論を十分尽くし、住民の合意と納得の下に進めるべきで反対。

**請願第3号**  
 価格保障は、農家の所得安定、担い手育成、国民の食糧と地域経済を守るための岩盤対策であり賛成。

**請願第4号**  
 企業が穀物種子を握ることは農業支配につながり、食糧安全保障・食糧主権が危うくなる。種子法廃止に伴う万全の対策を国に求めていくことは、住民の食糧と命を守るためであり賛成。

### 主な議案

〈平成30年度山鹿市一般会計補正予算〉

- ・移住定住促進事業：95万円(他県支出金195万円) 県地域づくりチャレンジ推進事業活用
- ・保育環境充実支援事業：……………407万6千円 (国交付金271万7千円・地方債・一般財源135万9千円)
- ・私立保育所改築について、国交付金増額によるもの
- ・農業担い手支援総合事業……………300万円 (県支出金300万円)
- ・県の経営体育成事業活用
- ・奨学資金事業……………300万円(寄付行為に基づく)など

〈定住自立圏形成協定の締結について〉  
 和水町との間に協定を締結するもの  
 ※定住自立圏構想とは…地方の核となる都市が中心となり、定住の受け皿となる都市機能を整備し、周辺の市町村が生活に必要な機能を確保し連携・協力することで、地方圏における定住の受け皿を形成することを目的に、国が平成21年から開始した制度。

## 議会の主な動き

4月

- 2日(月) 教職員辞令交付式
- 6日(金) 建設経済委員会協議会
- 10日(火) 市内小中学校入学式
- 11日(水) 全員協議会
- 12日(木) 熊本県市議会議長会
- 14日(土) 西南の役山鹿口戦没者慰霊祭
- 19日(木) 広報委員会
- 23日(月) 灯籠制作開始祭
- 24日(火) 百歳到達者表敬訪問
- 25日(水) 鹿本小学校起工式
- 26日(木) 九州市議会議長会定期総会

5月

- 8日(火) 広報委員会
- 9日(水) 全国自治体病院経営都市議会協議会理事会定期総会
- 13日(日) 菊池川水防演習
- 16日(水) 全員協議会
- 17日(木) 百歳到達者表敬訪問  
建設経済常任委員会
- 25日(金) 議会運営委員会
- 29日(火) 全国温泉所在都市議会議長協議会定期総会  
熊本県市議会議長会
- 30日(水) 全国市議会議長会定期総会

6月

- 1日(金) 6月定例会開会・全員協議会
- 8日(金) 質疑・一般質問  
広報委員会
- 11日(月) 質疑・一般質問・委員会付託
- 12日(火) 建設経済常任委員会
- 13日(水) 市民福祉常任委員会
- 14日(木) 総務文教常任委員会
- 18日(月) 議会運営委員会
- 19日(火) 6月定例会閉会
- 27日(水) 百歳到達者表敬訪問

行政  
視察

ようこそ山鹿市へ

5月23日 長崎県川棚町 新庁舎建設について

### 全国市議会議長会表彰受賞

5月30日に開催されました「第94回全国市議会議長会定期総会」(東京)において、市議会議員として長きにわたり地方自治の発展と振興に貢献された功績により表彰を受賞されました。



平井 邦廣 議員(15年以上)

#### 【表彰規定】

10年以上及び15年以上市議会議員の職にある者。市町村合併により市政を施行した議員の場合は、町議会議員の勤続年数の2分の1を加算する。

### 【人事案件】

#### 〈固定資産評価員〉

市長から提出された「固定資産評価員の選任」については、次のとおり同意しました。

山鹿市久原 高森 信昭 氏

### 議会だよりに対するご意見をお待ちしています。

より多くの皆さんに、身近でわかりやすい議会だよりとなるよう工夫しているところです。ご意見や感想、ご要望をお聞かせください。市議会だよりは、年4回定例会ごとに発行しています。

議会事務局 電話43-1634

編集後記

「俺の孫娘が熊本県高校総体で優勝したぞ!」と中学校の同級生から電話が入った。そういえば、今年3月のことを思い出した。それは、同級生の西口(旧姓;青木)まゆみさんが帰省された折、その同級生宅を訪ねたら、柔道をしている高3の孫娘と会った。

その時私は、「西口まゆみさんは、1972年オリンピックの金メダリスト。握手してもらおうと良いことがあるばい」と紹介する、まゆみさんは手を力強く握ってくれた。

その娘は、高校総体優勝、そして九州大会で3位入賞し、8月にはインターハイに出場するということだった。

私は朗報に喜び、金メダリストの影響の強さを実感した。

2019年には山鹿で世界女子ハンドボール大会、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催される。西口まゆみさんに続けとたくさんのアスリートたちが、この山鹿の地から誕生することを願っています。

広報委員 勢田 昭一